

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・  
指定都市名

山口県

地域名

萩市旭（あさひ）地域

人権課題

高齢者問題、インターネットによる人権侵害等

目標・人権教育  
のねらい

- 子どもと高齢者を含む地域住民との交流を通して、ふるさとを大切にする気持ちを醸成する。
- 学校・地域連携カリキュラムに基づいた多様な他者との関わりにより、自己肯定感や自他の人権を大切にしようとする意識の向上を図る。

各組織の動き・役割等

## 公民館がつなぐ学校と地域の双方向の関わり

年度末の会議で、  
今後も地域力の高  
さを強みに、子ど  
もを中心にした取  
組を通して、地域  
づくりを進めてい  
くことを共有

めざす  
子どもの  
姿の設定  
取組の  
評価

人権教育総合  
推進会議  
(年2回開催)

PDCAサイ  
クルによ  
る実践

実務担当者会議  
(年3回開催)

企画運営会議  
(定期開催)

- ・学校との連絡調整
- ・地域活動への参加の働きかけ
- ・子どもの様子に関する情報収集
- ・地域の思いの伝達

**公民館**  
旭総合事務所  
佐々並支所  
明木公民館  
佐々並公民館

- ・地域との連絡調整
- ・地域活動への参加の働きかけ
- ・ICTを活用した子どもの様子の発信
- ・学校の思いの伝達

### 学校・園

萩市あさひ保育園 萩市立佐々並小学校  
萩市立明木小学校 萩市立旭中学校

### 地 域

高齢者を含む旭地域住民

#### 【萩市あさひ保育園】

園の畑で季節ごとに野菜作りを行った。また、地域の方と一緒に、季節に合わせて梅もぎやそら豆の皮むきなどを体験し、梅もぎの体験後には、梅シロップ作りを行った。

#### 【萩市立佐々並（ささなみ）小学校】

米作りを通したふるさと学習では、地域の方の支援のもと稲を育て収穫を行った。そして、高齢者の集まる会で、感謝の気持ちを込めておにぎりを握り、一緒に食事をするなど、交流を図った。

#### 【萩市立明木（あきらぎ）小学校】

明木川についてのふるさと学習では、川を守るために子どもが学びたい内容について、地域の方が応える形で学習を支援した。そこで、川の保全に関する知識や技能、環境を守り続ける思いについて学んだ。

#### 【萩市立旭中学校】

秋の文化祭に向けて、祭りを支える運営スタッフとして、来場者に配られる紅白餅の袋詰めを行った。当日は、学習成果の発表とともに、地域の方の支援も受けながら文化祭を盛り上げた。

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

## 校種間連携の概要

保小中連携カリキュラムを基に、育ち・学びにおける共通実践項目に取り組むこととした。年間を通して、ICTを活用したオンラインによる交流授業や小学校2校による週1回の一日合同学習を行い、保育園児や中学生、中学校教員との交流を図った。こうした取組により園児・児童・生徒が互いを理解しようとする温かな人間関係を醸成し、校種間の円滑な接続につながった。

## 地域・関係機関との連携の概要

学校・地域連携カリキュラムを基に、子どもと高齢者が関わる活動を行った。公民館職員が中心となり、学校と地域の連絡調整を行い、子どもが学びの成果を生かして高齢者と交流する機会を作った。また、ICTも活用しながら、子どもの様子を公民館から高齢者へ発信したり、高齢者の思いを学校へ伝えたりした。こうした取組により、継続的に子どもと高齢者が双方向に関わる体制を整えた。

## 事業成果

児童生徒を対象としたアンケート結果（4段階評価の平均値）から次の変容が見られた。  
（目標値：3.0以上）

【知識的側面】 人の話を聞くときに、その人の考えや気持ちを考えることが大切である。	3.3→3.3
(生徒の感想) 相手の立場を考えたり気持ちを想像したりすることで、人との関わりが深くなると思いました。自分が話すだけではなくて、相手を見て話を聞くことを大切にしていきたいです。	
【技能的側面】 自分の考えや気持ちを、相手にわかりやすく伝えようとしている。	3.3→3.3
(生徒の感想) 周りの人とのコミュニケーションの大切さを強く感じました。自分の考えを伝え、仲間と何をしたらよいかを考えていくことが、よりよい方向につながっていくと思いました。	
【価値・態度的側面】 地域に関わる学習や行事をとおして、ふるさと旭を大切に思う気持ちが深まった。	3.3→3.5
(生徒の感想) 一人ひとりに思いやりの心があることを地域の方から教わりました。旭地域で過ごしてきた時間を通して、ふるさとを思う心や人を思いやることの大切さを学ぶことができました。	